

令和
7年度

一般会計補正予算審査 特別委員会

3月4日



委員長
水谷 幸乃

※一般会計補正予算審査特別委員会は、年度途中の行政需要に対応するため、予算の追加や変更を審査する委員会です。

歳入歳出予算のそれぞれ6,142万3千円を減額し、総額を93億6,297万3千円とする

繰越明許費	追加6事業…………… 1億1,036万7千円 変更1事業…………… 2,450万円（1,150万円減）を次年度に繰越
債務負担行為	情報関連業務 6億496万9千円（2億2,074万4千円増）に変更
地方債	2事業…………… 2,630万円を追加 一般廃棄物…………… 9,650万円（690万円増） 緊急自然災害防止対策事業…………… 1億6,080万円（150万円減） 防災対策事業…………… 900万円（3,240万円減） 臨時財政対策債…………… 1,128万8千円（71万2千円減）に変更

説明要旨

主に補助金等や事業費の確定または確定見込みに伴う増減を行うもの。

主な質疑

Q 財政調整基金の年度末残高見込みは。

A 3月末の不用額にもよるが、10億円前後になるのでは。

Q 共同浴場の料金の見直しについて検討は。

A 6月議会で入湯税を含め共同浴場の利用料の値上げを予定。その後周知等を行い12月頃に料金改定の実施を検討。

賛成全員 ↓ 可決すべきもの

令和
7年度

当初予算審査 特別委員会

3月14日～18日



委員長
飯田 正義

※当初予算審査特別委員会は、新年度予算案を詳細に審査する特別委員会です。

Q 防犯カメラ設置補助金について毎年1台10万円を10台で予算計上しているが、今後もこの計画を進めるのか。また設置先は決まっているのか。

A 数年は毎年10台を予定している。設置場所は決まっていない。町内会からの申請による。

Q 情報システム包括支援委託の標準化関連経費について、相当の増額となるが説明はあったのか。

A 国からは経費の大幅な削減との説明だったが、小規模自治体については経費が増えることになる。これらの内容について全国の市町村から要望が上がっており、国もどのような措置をするかはこれからである。

Q 起債については10億円で昨年の5億円弱、財政調整基金も少なくなるなど厳しい状況であり、将来の計画である個別施設計画と財政の指針からもこの予算はどうかと思う。

A 財政運営指針のとおり基金の額等を一定額貯めることで計画はしている。本予算も各部から協力いただき予算編成を行っている。

Q 歳入を増やすための具体的な努力や計画について何を考えているのか。また入湯税について一部話を聞いたが、その詳細を教えてください。

A 財政が厳しい状況にあり、特に利用者負担に関する料金改定が喫緊の課題となっている。町の共同浴場では料金の見直しが進められており、宿泊税についても議論が進行中である。ただし、入湯税そのものの改定よりも、共同浴場の料金改定が主である。

Q このままでいくと2、3年後について予算を組めないのでは、財政の切りつめをしないといけないのでは。財政状況について町民にわかりやすく説明すべきでは。

A 財政状況について、広報や町内